

誓いの言葉

本日は、二十歳という節目の年を迎えた私たちのために、このように盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、開催にあたりご尽力してくださいました全ての皆様にここにいる一同を代表して心より御礼申し上げます。

この二十年間を振り返ってみますと、私の人生が私を取り巻くどれほど多くの方々によって支えられてきたのかを改めて実感しました。それと同時に、支えてきてくださった方々へ感謝の気持ちを伝えることが年を重ねるにつれて恥ずかしさなどの感情によって苛まれ、少なくなってきたように思いました。この場をお借りして、支えてきてくださった全ての皆様に改めて感謝申し上げたいと思います。

さて、ここ数年は新型コロナウイルスによるコロナ禍が続き活動が制限され、今まで当たり前だと思われてきたことが、当たり前のことではないと痛感させられました。コロナ禍では先々のことも当たり前ではないと感じ将来に不安を覚えていました。

これから、自らの将来を選択する際にも同じような不安を覚えると思います。その中で、私が大事にしていきたいと思うのが「目標」です。「目標」を持つことで私たちは先々の不安を感じる前に、それを達成するための努力に没頭することができると思います。つまり「目標」は私たちにとって将来の不安を払拭する「希望」と言っても過言でないと思います。今までの人生でのもう一つの節目、「二分の一成人式」の時に「目標」を定めたように改めてこの二十歳という節目に自らの「目標」を定めたいと思います。

成人年齢が引き下げられた中、大人の仲間入りの節目と考えられる二十歳ではただ「目標」を持ち日常を過ごすわけにはいきません。そこには今まで以上に責任が伴います。私たちはこの責任を自覚するとともに、一人一人が自らの行動に責任を持ち、社会の一員として歩いていくことをここに誓います。ただ、私たちは社会人としてまだまだ未熟であります。これからも温かい目でご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に上田市で育った誇り、そして先ほど述べた決意を誓い代表挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和6年1月7日

上田文化会館会場

(第一・第二・第三中学校区域)

成人代表 米沢康佑

※当日は急遽、令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」のお悔やみを冒頭で述べているため、実際の文章とは異なります。